

短歌のつくり方 (中等部の生徒と保護者の皆さんへ) ② ニュージャーシー補習授業校(十二月八日)

中等部の皆さん、短い詩―短歌をつくってみましょう。(五・七・五・七・七)の三十一文字です。

参考にする本があります。興味がある人は買って読んでみてください。俵万智『考える短歌』新潮親書
そして、学ぶべき実践があります。T.O.S.S.春日井(愛知県の竹田博之先生の実践です)。

竹田先生は「俳句ができたなら短歌もできる。」「二つの俳句を合わせると短歌になる。」と言われます。その中学生版です。 つくる手法は初等部と同じです。「命の息吹」を読み取ってつくりましょう。

① **まず、「五文字」「七文字」の言葉(単語)をたくさん集めます。**

例として「部活動」「修学旅行」を考えましょう。

【五文字】 浅草寺せんそうじ お台場で 思い出の 思い出の 部活動 市大会 三年間 受験生

【七文字】 修学旅行で 二泊三日の 友と語った 汗と涙の 優勝めざして

② **次に、俳句をつくります。** (一句に季語―季節を表すことば―は一つだけ)

例えば、「部活動」「修学旅行」などの俳句をたくさんつくります。

1. 浅草寺 友とはぐれて 大騒ぎ
2. たくさんの 思い出できた 修学旅行

③ **二つの俳句を、合わせます。できあがりです。**



浅草寺 友とはぐれて 大騒ぎ 思い出つまった 修学旅行

部活動 日も暮れかけて 帰る道 赤く染まった プールながめる

④ **短歌は、しっかりと言葉を選びましょう。**

⑤ **何を題材としてつくるか?・・・これがとても大切です。題材を選びましょう。**

- ・アメリカの気候。風物。名物。(日本と比べて)
- ・アメリカの食べ物。(バーベキューなど日本と比べて)
- ・アメリカのスポーツ観戦。(野球、アメフト、サッカー、バスケットボールなど)
- ・アメリカの遊びやスポーツ。
- ・勉強や宿題、学校生活。学校の友だち。時には恋も。
- ・帰国(一時帰国も)。

⑥【世界の中学生の作品から学びましょう。】(中等部) 文芸作品コンクール入賞作から

日本語の意味がわからず考えるおちこんでいる金曜の夜

(トロント補習校 小六年 古川 芳樹)

灯台に荒波寄せる冬景色セメント色の波押し寄せる

(ウエールズ補習校 中一年 佐藤 衣莉)

私たち帰国子女はむつかしい何処へ行っても中途半端

(インディアナ補習校 中二年 関根 菜摘)

赤ん坊に帰った気がするアメリカで自分の思いつたえきれず

(中部テネシー補習校 中二年 山田 博生)

気づいてよわたしたはここにいるんだよ誰か気づいて心の叫び

(ロサンゼルス補習校 中二年 喜多村 英里)

英語でも何度も読めばわかるはずアメリカに来て二ヶ月のぼく

(サンフランシスコ補 中二年 山村 編路)

ひな祭りイギリスにいてもひな人形かざってもらう三月三日

(ウエールズ補習校 中三年 中川 真奈)

たましいがやどるようなたたずまいバンフの湖に姿勢を正す

(トロント補習校 中三年 柳瀬 健吾)

あいたくてでもあえなくて青い空にともだちの顔描いてみたの

(ヒューストン補習校 中三年 館野 真梨子)